



第1回 地下水・地下熱資源強化シンポジウム（富山大会）
～地下熱利用でエコ社会の実現を～

実施趣意書

第1回シンポジウム実行委員長 土合 拓也
株式会社日東 代表取締役

1. 目的

逼迫する電力需給と過度の化石エネルギー依存に対する危機感が高まっている昨今、国内に豊富に存在し、かつ持続可能な代替熱源としての地下水への期待が高まっています。そのような状況の下、2014年4月に、研究機関や関連組織が連携を強化し、技術力向上を図り、情報交換や啓蒙活動を通じて豊かな社会の醸成に貢献するため、NPO法人「地下水・地下熱源強化活用研究会（AGREA）」が発足いたしました。

その活動の第1弾として、幾筋もの急峻な河川が形成した広大な複合扇状地に北アルプス立山連峰を源とする膨大な地下水が流れる富山の地で、第1回目のシンポジウムを開催することと致しました。本シンポジウムでは、エネルギー需要の半分以上が冷暖房と給湯に使われている民生部門、原油高にあえぐ施設農業部門、1次エネルギーの半分以上が排熱として捨てられている化石エネルギー利用発電部門など、様々な課題を抱えるエネルギー問題を包括的に展望し、地下空間の熱的機能を生かして環境にやさしく、かつ従来技術に比べはるかに経済的な方法で豊富な地下水を熱エネルギー源として利用する新技術とその活用法について議論します。

まず、AGREA 理事長である藤縄克之信州大学教授よりわが国の抱える地下水・地下熱源活用の現状と課題について紹介いただき、具体的な地下熱活用の事例紹介や関連組織の代表者によるパネルディスカッションにより、研究、行政、企業での施策・対応などについて深く掘り下げていき、参加者の皆様に、地下水・地下熱利用に対する理解をより深めていただきます。同時にロビーにおけるパネル展示では、最新の技術の紹介などもおこないます。また、翌日には先進的に地下熱利用に取り組んでいる実施例を視察するテクニカルツアーも予定しております。

以上のような主旨で開催されるシンポジウムにぜひご賛同いただき会を成功させるため、何卒ご協力を賜りたくここにお願い申し上げます。